



ななかまど PTA便り

第79号

令和5年(2023年)

11月4日(土) 大安吉日

発行者: 北海道札幌南陵高等学校

(PTA事務局)



「なによりも子どもたちのために」

PTA会長 脇元 繁之

日頃より南陵高校PTAの活動にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行し、学校生活も以前のような活気が戻りつつありますが、今夏は、ご存じのとおり猛暑により、学校も臨時で午前授業とするなど、生徒や教員が大変な思いをしました。関係各所への要望や相談もしましたが、早急な手立てができず、来夏の課題となっているところです。暑さ対策もさることながら、我が校の喫緊の課題は生徒数の激減による学校生活の様々な弊害です。

生徒数が減少すると、当然のことながら教員の配置人数、部活動による部員数減による活動休止・廃部を余儀なくされるなど、良いことはなにひとつありません。

藤野地域の交通安全啓発活動へ参加するなど、生徒たちも地域との関りをもつようになり住民の皆さんと触れ合う機会も増え、地域との結びつきも強くなってきたところです。

学校が無くなると、賑わいも失われていきます。

南区の唯一の道立高校であり、藤野地域に残る最後の高等学校として、なんとしても存続・維持をするために、1人でも多くの入学希望者が増えるよう、学校・地域・同窓会と一体となり、「なによりも子どもたちのために」を第一に引き続き我々PTAは活動してまいります。

今後とも当会活動にご指導とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます



「2024年、南陵高校は大きく変わります！」

校長 小野 達彦

こんなに素晴らしい「学びの環境」がある南陵高校へ、より多くの中学生に受検してもらいたい、その一心で、前回このコーナーでお伝えしていたように、来年2024年度から南陵高校は次の段階を目指し、大きく変わります。まずは教育課程を変更、ビジネス系・商業系の資格検定が受検可能に、1人1台端末の無料貸出枠の拡大、そして1980年に開校以来ずっと続いていた「自転車通学禁止」をやめます。詳細はこの後記載していますのでそちらをご覧ください。駐輪場もあります。

授業では生徒がわかるまでていねいに指導します。生徒指導は個々のご家庭と最適なコミュニケーションをとりながらもきっちりやります。進路指導の目標は常に「年内で合格・内定100%」。今年もうまくいっています。生徒会執行部による学校行事はさらにバージョン・アップしています。PTAの¥100カレーライス最高で



した。協元会長はじめPTA役員、保護者の方々より大変大きなご支援・ご声援をいただいています。

地元藤野の美しい自然を活かした「総合的な探究の時間」、さまざまな分野から講師を招いて生徒の心に迫る「南陵いのちの授業」、町内会や介護施設、藤が丘幼稚園と連携する交流事業、さらにボランティアの機会があれば生徒が出かけていきます。このように南陵高校は今まで以上に地元とのつながりを大切にする学校を目指します。新年度本校のコーディネーターが各所に伺います。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

★北海道PTA連合会石狩支部「教育講座」研修会に参加して

10月5日(木) ホテルライフオート札幌 講師：富家 直明 氏「子育てに活かす認知行動療法」
(参加されたPTA役員の方々より)

- ・今回の講演を生徒たちにも聞かせてあげたい。これが一番の感想です。先生のお話で印象に残った言葉は『やってみなくちゃわからない』です。自分や相手や環境を否定せず、欠点探しをせずに嫌なことには半ドアで受け止める。中々難しいかもしれませんが。ですがちょっと思考を変えてみなくては、と言う気持ちになりました。忘れそうになったら、心の中で「やってみなくちゃわからない」とつぶやいてみようと思います。
- ・富家直明教授の「子育てに活かす認知行動療法」の講演を聴いてきました。うつ病に関するお話でした。3つの否定(自己・環境・将来)的な思考や、推論「自分勝手な推論・ネガティブコレクション・ねばならない思考・過剰な責任感」の誤り等が原因でなりやすいようです。この誤りを修正するには、知識を上げたり「どうせ〜だろう」と言う考えを「やってみないとわからない」という思考へ変えていくことが大切だと伺いました。思考と行動を修正することにより対処方法が広がるようです。うつ病には、自己決定能力を持つこと、いろいろな人と会話をすることが一番よいようです。とてもよい勉強になりました。南陵生に是非聴かせてあげたいと考えます。このような機会をいただきありがとうございました。

☆南陵いのちの授業① ～「いきなり“がん”と言われて、、、まだ生きているじいちゃんの話」

生徒たちに命の尊さ、命を大切にするための行動や考え方を知ってもらおうと、校長が企画しました。3回シリーズの第1回目は、講師に札幌学院大学客員教授で、地域マネジメント・アソシエイツ代表理事の戸根谷法雄先生をお迎えしました。

がんを患った自らのご経験を踏まえ、生きていることの喜びや感謝、さりげない優しさや寄り添う心が大切であり、会社にとって最大のリスクは倒産であるように、人生における最大のリスクは命を失うことである等リスク・マネジメントの観点からお話いただきました。

講話を聞いた生徒は「自分は友だちにとって、そばにいて相談できる存在でありたい。」「命の大切さについて改めて考えるいい機会となった。」と語っていました。

★南陵いのちの授業② ～「自分の人生を幸せに生きるために」

第2回は「道徳教育」講師はコーチングのプロ、(株)ゆめかな代表取締役の石川尚子先生でした。

ワークシートを使い、先生からの質問に答える形で「幸せに生きるために」ポイント①～⑤を見つけました。幸せスイッチとは？ 最強の言葉とは？ 幸せに生きるための魔法の質問。そして最後には「皆さんのこれからの幸せを心から応援しています。」というメッセージをいただきました。

生徒たちは「自分や友だちのことを考えるいい機会になった。」「これからはもっとありがとうという最強の言葉をたくさん使っていきたい。」と話していました。

南陵いのちの授業、次回は12月4日(月)13:30～15:30。テーマは「学び続けること、生きること」です。講師は代々木ゼミナール教育総合研究所 主幹研究員で学びのスペシャリスト、R4まで北海道札幌北高等学校長だった林正憲先生をお招きします。どなたでも参観いただけます。希望される方は本校教頭までお電話でお願いします。 Tel 011-591-2101

☆2年生は見学旅行へ

3泊4日の関西ツアー。1日目は各自で新千歳空港へ集合。羽田経由で到着後すぐに奈良公園の大仏さまとご対面。もちろん鹿もたくさん寄ってきました。2日目には全員がホテルで着付け体験、着物のまま嵐山へ。その後の京都市内での自主研修中もずっと着物と草履を着用。そして3日目の関西地区終日自主研修ではほとんどの班がUSJで絶叫体験。異文化体験という旅行の目的は十分に果たせそうです。最終日は大阪万博公園内にあるニフレル「生きているミュージアム」の体験。2025年に開催予定の大阪万博EXPOに繋がる、不思議な「近未来の疑似体験」です。帰りも羽田経由、そして新千歳空港で解散しました。全員が無事に戻ってくるのが一番の目標でしたが、見事にクリアできました。

高校時代で一番の行事、見学旅行で初めて見たり食べたり。お土産話がたくさん聴けますね。

★藤野ふるさとまつり（8/5土）～ありがとうございました！

本校から18名の生徒有志がボランティアとして参加しました。いきなり開会式から生徒全員がステージから来場者の皆さまへご挨拶をする機会を与えていただき、緊張の中にも地元のあたたかい歓迎を受け、彼らも校長も教頭も大喜びでした。生徒会長の富樫初穂さん（3年）は「地元の方々と交流できて光栄。私たちも元気いっぱい活動したいです。」と語り、会場からは大きな拍手が送られていました。「胸が熱くなりました。」（校長）

☆全員インターンシップ

5月の看護インターンシップに始まり、介護の現場、就職希望者が職場を訪問し体験する機会、大学説明会への訪問など、1～3年生の全員が毎年出かけます。

「生徒全員毎年参加型」のインターンシップは南陵高校ならではの行事です。近年学校や企業の現場で憂慮される「ミスマッチ」への対策です。

お世話になる企業、学校関係の皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

★体育祭でアオハルしました！ ～復活から2年目、青春の1ページ

男子はサッカー、バレー、バスケ、女子はドッジボール、バレー、そして男女混合のリレー。生徒会執行部の見事な運営、写真部はじめ各部活生徒の大活躍、そして全校生徒の協力体制など、まさに南陵高校のすばらしさである「一体感」のある行事となりました。閉会式では3年生に負けず、1、2年生にもきっちり賞状がわたっていたのにも驚かされました。「楽しかった」の声がたくさん聞こえてきました。

★ホームページ見てください！ ～リニューアル5ヶ月で2万人突破！

ほんの数ヶ月でこの閲覧数です。いつも見てくださりありがとうございます。生徒が南陵学校を紹介する動画（生徒作成）や学校行事・部活動での生徒の活躍、笑顔、その他の情報が満載です。スマホからでも視聴可能ですので、ぜひ！ 学校説明会の代わりとして動画をご覧ください。札幌市内でも遠方の中学校から出願してくださる方のためにアップしています。その他保護者の皆さまからの質問、また実際に学校を訪問して見てみたいというご要望なども随時受け付けておりますので、お気軽に本校教頭までお電話でお知らせください。

中学校単位での訪問にも対応しています。どうぞその旨お伝えください。 Tel 011-591-2101

☆文部科学省からの指定事業 ～E-Assessment (E アセスメント)

全国で3校（北海道から本校のみ）、教育課程実践検証協力校の指定を受けました。内容は文科省が今後の導入を考えている、CBTシステム（MEXCBT：メグビット）を活用し英語の授業で使用する問題等を作成・開発した後、得られたデータを文科省及び他の2校と検証するというものです。

本校の全授業におけるICT機器活用率は全道トップレベルであり、また授業改善という面からも意義のある取組になるものと思われます。南陵高校では生徒だけでなく先生方も勉強しています。

★SSKプロジェクトやっています！ ～いわゆる授業参観ですが、

本校には新採用2～4年目の若手教員が3名います。プロジェクトの名前は彼らのイニシャルをくっつけました。それぞれ理科、英語、保健体育の教科指導および担任業務について目下研修中ですが、ベテランの先輩らが彼らの授業を参観しアドバイスを送ります。また若手3人も先輩たちの授業を見て多くを学びます。他にも3人は、学校祭の校長バンド（NKB48）でリードボーカルを担当し、また職員親睦会で様々な発表をするなど、しっかりと研修をこなしています。明日の北海道を担う生徒を育成する有能な教員として、大きく成長してくれるよう期待しています。

☆リトル・マーメイド鑑賞

アニメ版も実写版もいいですが、劇団四季のミュージカルもステキです。3年生が芸術鑑賞の時間として東1丁目劇場施設（旧北海道四季劇場）を訪れました。ストーリーは今更言うまでもありませんが、鑑賞を終えた生徒たちには、きっと勇気と感動、人を想うことの大切さなどが伝わってくれたことでしょう。校長はやはりラストの父（トリトン）と娘（アリエル）のシーンが好きです。娘を持つ父親の気持ちがよくわかる演出にしてやられたというわけです。

★藤が丘幼稚園のお友だちが来てくれました！

本校2年生女子の体育の授業に、近所の幼稚園から17名の園児がやってきて、高校生のお姉さんたちと一緒に運動を楽しみました。向かい合って大きな声で挨拶した後、ウォーミング・アップから元気いっぱい汗を流しました。最初はお互い緊張していましたが、すぐに慣れて楽しい時間となりました。教育現場としては、コロナ禍でこの2年くらいはこのような連携がなかなかできずにいましたが、今回は初めて地元の幼稚園とつながることができて本当によかったと思っています。高校生側の授業評価ポイントは「技能差・体格差のある相手思いやり、適切に運動指導すること」でしたが、園児の皆さんのパワーにだいぶ助けられたと思います。

関係者の皆さん、ありがとうございました。ぜひまた一緒に何か面白いことをやりたいです。

☆来年4月南陵高校への受検を考えている中学生の皆さんへ

札幌南陵高校は、来年（令和6年度）の入学生から次のように変わります。

1) 教育課程の改訂

- ・芸術科目の選択：書道・美術・音楽から1つ選べるようになります！
（情操教育をさらに充実）
- ・各教科の選択科目の精選：家庭科、体育、その他選択肢が増える
（実技系、実習系の科目で「生きる力」を身につける）

2) 資格・検定の取得

- ・ビジネス系（PC等）、商業系（簿記等）の検定対策・受験を校内で実施します！
就職・進学に強い南陵高校がさらに強くなる

3) 自転車通学を許可します！（PTA総会で保護者からの要望に応じて）

- ・開校以来44年目で初めて自転車での通学を許可
（学生専用バスもあります：冬はバスが使えます）

4) chromebook（クロームブック：Googleパソコン）を希望者に無料レンタルします！

- ・一昨年度から道立高校では一人一台端末として購入をご案内していますが、希望される方には無料で3年間お貸しできます。授業等で毎回使用します。
- ・上記の機種でなくても、自分で使いやすいものを購入し授業で使ってもOKです。

※「確かな学力」「あいさつと掃除」「思いやりと優しい気持ち」が南陵の指導原点です。
 進路決定（年内に）進学も就職も100%が本校の強み（実現目標）です。
 保護者の皆さまも含めて、ぜひ本校への入学をご検討ください。（校長）



権園 交流授業

・技能差 体格差がある相手と思いやり、適切に運動指導

本時の流れ

あいさつ

up (互いに、挨拶、ストレッチ)

活動

（材料）

<メニュー>

- ・手をたたきながら前の進ん
- ・頭・肩・パンパン（3回ずつ）
- ・膝をクロスして伸ばす動き
- ・頭・肩・肘・肩（2回）
- ・1.2.3.4.5.6.7.8.9.10

